

令和7年度第4回小林市地域公共交通活性化協議会・地域公共交通会議 会議要旨

開催日時：令和8年2月17日（火） 14時00分～15時20分

開催場所：小林市役所2階 第1会議室

出席者等：出席委員8人、代理出席3人、欠席委員5人、事務局3人

【会議要旨】 ※ [] 内は話者

1 開会〔事務局〕

2 会長あいさつ〔会長〕

本日は、コミュニティバスの運行見直しについて協議いただく。令和8年5月に供用開始を予定している複合体育館へのコミュニティバスの乗り入れと現在安全運行に支障を来している路線の経路を見直すものである。

3 議事

・コミュニティバスの見直しについて

<質疑>

〔A委員〕

野尻にもコミュニティバスは走っているが、野尻のコミュニティバスとの接続は考慮しないのか。野尻の人が複合体育館に行くには、宮崎交通の路線バスに乗らないといけないのか。

〔事務局〕

野尻地区については、宮崎交通路線バスが通っているので、小林のコミュニティバスと直接接続するのは難しい状況である。よって、野尻の人は小林駅まで宮崎交通路線バスで来て、運動公園循環線で複合体育館まで行ってもらおう。コミュニティバスと路線バスの接続性を向上することで、利便性の向上を図りたいと考えている。

〔B委員〕

障がいを持つ方や車椅子を利用する方が、複合体育館まで行く際の手段としてどのような方法を検討しているか。

〔事務局〕

今回はコミュニティバスを使って複合体育館まで行くための案を作成している。障がい等の理由によりコミュニティバスの利用が難しい方の移動については、公共交通部門だけでは解決が難しいため、福祉課等の担当課とも協議しながら引き続き検討していく。

〔C委員〕

複合体育館に移る業務は記載の課の全ての業務なのか。各庁舎は残るため、複合体育館まで行かなくても手続等はできるのではないか。

〔事務局〕

業務が移るのは建物で見て、保健センター（旧九電跡地）内に入っている業務（こども課の一部、健康推進課）と市民体育館に入っているスポーツ振興課の業務が移る。市役所本庁舎及び各支所内の業務はそのまま残るため、引き続き相談や申請等の受付が可能である。

〔D委員〕

運動公園循環線の運行日について、日曜がイベントが多くなると考えられるが、日曜が入っていないのはなぜか。

〔事務局〕

見直し案の運行日については、関係課へ複合体育館で開催予定のイベント調査を行い、得た結果を基に決定した。今回は土曜までとしているが、土日の複合体育館の利用状況は読めない部分もあるため、利用状況を追いながら今後検討していく。

〔E委員〕

今後、国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会が複合体育館で開催されることも考えると一般の方や障がいを持つ方でも行ける交通手段がないといけないのではないかと。

〔事務局〕

コミュニティバスとしては輸送量に限りがあり、大会開催に向けての対応は企画政策課だけで決められるものではないので、庁内横断的に協議が必要なものである。福祉的な対応についても、今後公共交通と福祉の連携の中で関係課も含めて協議し、検討していく。

◆原案承認

4 その他

- ・公共交通市民アンケートの結果について

〔F委員〕

これは聞き取り調査前のアンケートの結果という理解でよいか。

〔事務局〕

今回は、紙面上で行ったアンケートの結果速報の情報である。次年度に公共交通計画の策定を進める中で、聞き取り調査やグループインタビューを行っていく予定である。

〔G委員〕

吉都線やバスとの接続を考慮した時間の見直しを希望する回答者が多いが、前向きに検討いただけるのか。

〔事務局〕

今回のコミュニティバスの見直しについても、吉都線との接続を考慮しダイヤの調整を行っている。引き続き努力していく。

- ・広域的コミュニティバス小林並木線の今後について

〔H委員〕

小林並木線では令和7年度実績で1便あたり一人も乗っていない状況。路線バス無料デーの日も利用実績ゼロの日があった。現在利用している人もいるので、維持はしていきたいが運転士不足の現状からこのような話をしているので、御理解いただきたい。

- ・公共交通と福祉の連携について

<質疑意見なし>

5 事業者の近況報告

①バスの利用状況等について（宮崎交通株式会社）

12月1日に路線バスのダイヤ改正を行った。乗りやすくなったという声がある反面、改正前の便がよかったという声もある。引き続きこのような場でダイヤ改正についても協議していきたい。

②鉄道の利用状況等について（JR九州宮崎支社）

沿線の伐採について、今年度夏時期に要望いただいて概ね対応が完了した。次は草が生えないような対応を行うことを検討している。今後、高校生の声を反映したダイヤ改正を行う。今後の利用状況を注視しながら利用者数が伸びるよう対応していきたい。